

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年1月29日（水）

2 確認箇所

5、6号敷地護岸ヤード（ALPS処理水希釈放出設備・放水立坑）（図1）

3 確認項目

放水立坑（上流水槽）点検作業の状況

4 確認結果の概要

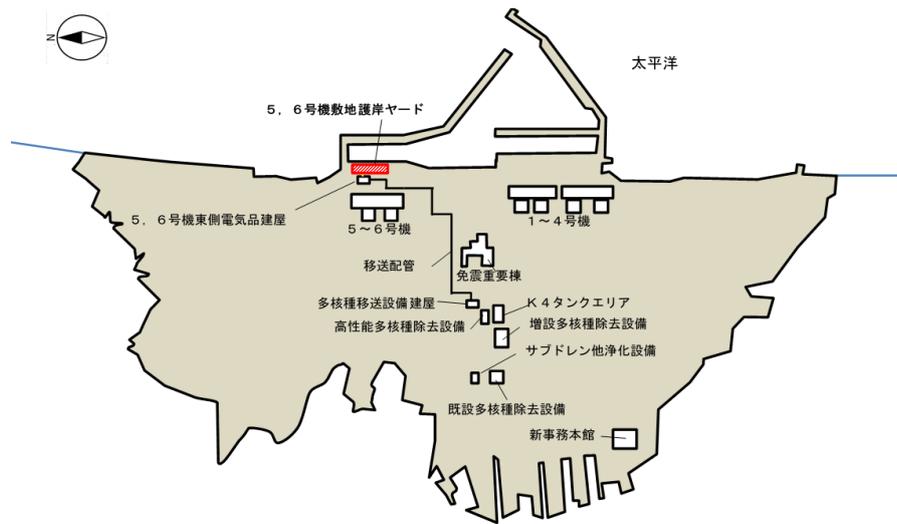
多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）は、海水でトリチウム濃度を1,500 Bq/L未満まで希釈された後、海洋に放出されている。希釈に用いる海水には貝類などの海生生物や土砂が含まれており、これらがALPS処理水希釈放出設備（以下「希釈放出設備」という。）のポンプや配管等のトラブル要因となるため、定期点検が必要となる。

このため東京電力では、第10回目（10月17日～11月4日）のALPS処理水放出後に希釈放出設備の点検を実施している。

本日は、希釈放出設備のうち放水立坑（上流水槽）の点検作業の状況について確認した。（前回確認日：令和7年1月24日）

- ・当日は、機材の撤去作業が行われており、足場が解体され上流水槽の上に保管されていた。（写真1）
- ・上流水槽開口部から内部を確認したところ、点検作業で生じた廃棄物がフレキシブルコンテナバックに詰められ、使用した資機材と一緒に一箇所に集められていた。（写真2）
- ・上記作業のほか、希釈に用いる海水を汲み上げる設備のうち、スクリーン※の組立作業が行われていた。点検・清掃作業が終了したスクリーンは最終確認が行われた後、クレーンで吊り上げられ装置に組み込まれていた。（写真3）

※スクリーン：発電所や製鉄所などの取水口で水中の塵芥を除去する除塵装置。ALPS処理水を希釈する海水を汲み上げる際、海水に含まれる海藻、クラゲ、小魚などの塵芥を除去する設備。



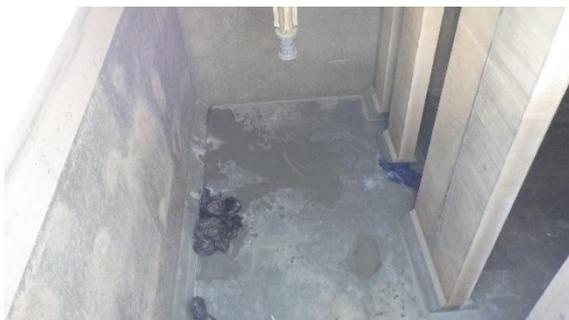
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 解体された足場



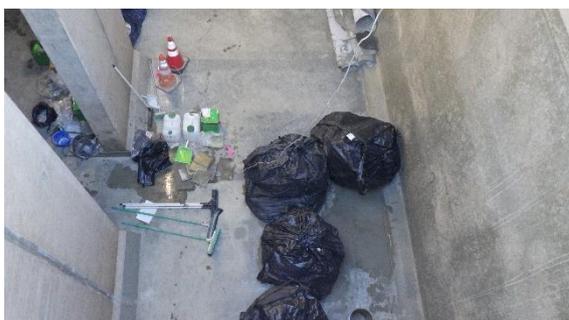
(写真1②) 足場が設置されていた開口部



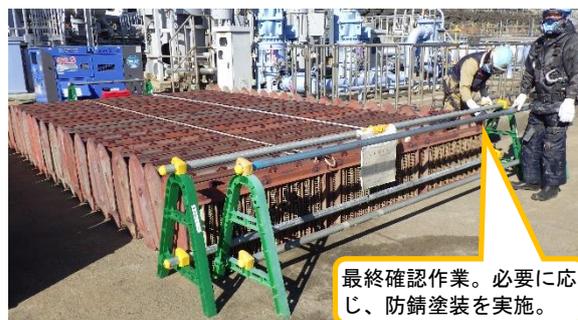
(写真1③) 上流水槽内部の状況(南側)



(写真1④) 上流水槽内部の状況(北側)



(写真2) 廃棄物及び作業資機材



(写真3①) 点検・清掃後のスクリーン



(写真3②)スクリーンの組立作業



(写真3③)スクリーンの組立作業

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常値は確認されなかった。